

病院の中では様々な職種の方が働いています。  
今回は手術室の方に話を聞いてみました。

## 病院のお仕事

### 手術室編

#### Q1. 手術室の業務について、主にどのような仕事をしていますか？

当院手術室は看護師7名、臨床工学士1名の8人で構成されています。主な手術内容は整形外科（骨折など）、外科（消化器）、皮膚科（悪性腫瘍・粉瘤）、内科（ペースメーカー）が主な手術内容になっており年間約300件（夜間緊急手術含む）の手術を行っています。

手術室では手術中に医師に器械を手渡す役割の看護師と、その周りで術中の様々な介助・支援を行う看護師で患者さんを担当しています。

#### Q2. 患者さんに接する上で心がけていることはありますか？

手術を受ける患者さんの不安を少しでも取り除くため、手術前に病室へ訪問しています。手術の説明をし、手術に関する不安をお聴きすることで、一人ひとりに向き合った看護を提供しています。

#### Q3. 患者さんへメッセージをお願いします。

手術を受ける事は怖く、不安でいっぱいだと思いますが少しでも安心して手術を受けていただけるよう取り組んでいますので遠慮なく声をかけてください。最後に大切なお願いです。術後の合併症を減らすために、手術を受ける方には事前の歯科受診と禁煙をお願いしています。ご協力の程宜しくお願いします。



外科手術風景

整形外科手術風景



## 明けましておめでとうございます



ここ数年、新型コロナウイルス感染症に翻弄されながらもスタッフが一丸となり、一生懸命地域医療を支えてまいりました。今年は病床数を198床から180床とし、東病棟内の改修工事を進め、入院環境の整備、効率の良い運営を目指します。昨年秋から始まった病院の外壁工事も春には完了し、新生コスモス病院の姿を地域の皆様にご披露できる事を楽しみにしております。

一方、外観のみでなく、4月からは院長のバトンを外友副院長に渡すことになり、新しい体制が始まります。10年間、白杵に勤務させていただき地域の皆様には心から感謝申し上げます。また、マンパワー不足、特にケアワーカー職に関しては今春より初めてフィリピンから2名外国人を雇い入れる予定です。宜しくお願い致します。

近い将来、東南海地震や新興感染症の発生が懸念される中、コスモス病院もこれまで以上に医師会の先生方と連携を深め、皆様が安心して暮らせる白杵となるよう頑張らせて参ります。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

院長 下田勝広



## 外壁工事中です ご迷惑をおかけします

2023年9月から2024年4月までの間、外壁の工事を行っております。工事期間中、騒音や工事車両の出入りなどで外来患者様、入院患者様にはご迷惑をお掛けいたしますが、ご協力の程宜しくお願い致します。



## 石仏ねっと便利



石仏ねっと登録者数  
**25,090名**  
令和5年11月30日現在

## 救急医療功労者厚生労働大臣表彰を受けました

救急医療功労者厚生労働大臣表彰は、厚生労働大臣が、都道府県知事の推薦のもと、長年に渡り地域の救急医療の確保、救急医療対策の推進に貢献した個人や医療機関等の団体の功績を称えるものです。今年度は個人22名と3団体医療機関が表彰され、個人として外友副院長が受賞となりました。

これまで、当院と救急隊員との間で救急搬送となった患者さんが「コスモス病院を経由すべきかどうか」の検証を15年以上に渡って行ってきました。

白杵市内で救急車を呼ぶと、まず救急隊が向かいます。患者さんの状態を確認し、コスモス病院に搬送するか、または大分の救急救命センターなどに直接搬送した方がよいかを判断します。高エネルギー外傷や脳卒中・心臓発作などが疑われる場合、直接高次機能病院に搬送した方が救命率が上がるためです。

2023年10月に、検証データをもとにした「白杵市救急搬送基準 2023」が作成されました。患者さんの症状や状態から当院を経由するかどうかの判断基準が記され、救急隊員の理解の下、市民の皆様のもしもの場合に活用されています。

更に、市民の皆様のもしもの場合に活用されているものとして「うすき石仏ねっと」があります。市民の皆様が救急車を呼んだ時、消防本部の通信指令室で「うすき石仏ねっと」の情報が共有されています。登録された病名・アレルギー歴・定期薬の情報・かかりつけ医情報などを事前に知ること、現場での活動時間の短縮に繋がっています。

このような白杵市の救急搬送体制が一步先を行っているかと評価して頂き、今回の受賞につながったと思われます。このような体制は一朝一夕に出来上がるものではありません。救急隊員、かかりつけ医の先生方、当院職員、そして市民の皆様との協力により構築されてきたものです。これからも大分県・白杵市の救急の発展のために尽力していきたいと思っております。

副院長 外友一洋



## 絵画を贈呈して頂きました

2023年6月に、白杵市に在住の久米 堯くめ たかしさんより絵画を贈呈して頂きました。久米さんには昨年も絵画を贈呈して頂いており、今回で2点目の贈呈となります。

繊細なタッチの絵画は、現在西3階病棟と東3階病棟のデイルームに展示され、入院患者さんや職員の癒しとなっています。

素敵な絵画を頂き、ありがとうございました。



久米さんから下田院長へ贈呈



## 血液検査で、胃の健康度をチェックできます！

### ABC 検診

### あなたの胃はどのタイプ？

ABC 検診とは胃粘膜の萎縮の程度と、ピロリ菌感染の有無を測定し、将来の胃がんのリスクを予測する検診です。

一回の採血で  
わかります



#### ペプシノゲン検査

胃粘膜の萎縮度(老化度)を  
みることができます。



#### ヘリコバクター・ ピロリ抗原検査

胃がピロリ菌に感染して  
いないか調べる検査です。

ABCD分類	ヘリコバクター・ピロリ抗体価	
	(-)	(+)
ペプシノゲン	(-)	A群 B群
	(+)	D群 C群

#### A群

健康的な胃粘膜です。  
胃の病気になる可能性は  
低いと考えられます。



#### B群

少し弱った胃粘膜です。  
ピロリ菌の除菌をおすすめ  
します。



#### C群

弱った胃粘膜です。  
ピロリ菌の除菌を  
おすすめします。



#### D群

かなり弱った胃粘膜です。  
胃がんなどの病気になる  
リスクがあります。  
内視鏡検査を受診  
しましょう。



検査料金 3,300円(税込)

※ B、C、D群の方は定期的な内視鏡検査をおすすめします。  
※ ピロリ菌の除菌には内視鏡検査が必要となります。

【お問い合わせ】白杵市医師会立市民健康管理センター ☎:0972-62-2526

## 災害訓練を実施しました

9/30  
外来支部  
訓練



コスモス病院は災害拠点病院です。災害が起こったときのため、当院では毎年災害訓練を行っています。

9月29日(金曜日)の午前11時に震度6弱の地震が発生。津波到達まで65分、最大の津波の高さは4.1mとの想定で、今年度は外来支部訓練と災害対策本部訓練を2日間に分けて行いました。

実際に怪我をして来院される模擬患者さんを置き、どのように対応していくかを確認したり、実際に使う物品を用いての訓練を行いました。また、発災直後の災害対策本部の機能訓練も行い、更なる課題や改善点を明らかにしました。

災害が起こっても入院患者さんや市民の皆様を守れる病院であり続けられるよう、今後も定期的に訓練を行ってまいります。



10/28  
災害対策  
本部訓練